

2016.9.24/9.25 Minole



待望の続編!

REPORT スケールアップした「大人の小粋なエンターテインメント」

みの〜れ&演劇ファミリーMyu コラボレーション ここで逢えたら vol.05

「スナックあけみ」の扉を開けると、そこには…「ここで逢えたら…」の舞台があり、7人のキャストと3人のバンドが演じるお芝居と歌がある。とにかく「ここで逢えたら…」の魅力といえば、客席とステージの一体感があり、劇中で出てくるカクテルと同じものを飲むことが出来ることなど、様々な工夫がされていました。完成度の高いお芝居と歌を楽しむ2時間半はあっという間に終演となりました。「少し人生に疲れたらこの店でゆっくり自分と向き合えばよい」ここで逢えたらのセリフがとても印象に残り、ますます続編が楽しみになりました。<みのんば編集局 立原 宏昌>

2016.10.10 Minele



ラストラン!

REPORT 7年間で39回ありがとう! さようならなつかしの名画座 最終上映会「息子」

7年間に渡り、古き良き映画を上映してきた「なつかしの名画座」。最終上映は、1991年公開の山田洋次監督の『息子』でした。上映前には、みの〜れ住民楽団Jolly forest Jazz Orchestralによる映画音楽のコンサートやこれまでの上映作品の展示もあり、映画以外でもたくさんの来場者は、楽しんでました。展示では、各映画上映ごとに工夫された会場の装飾の様子や映画に対する実行委員によるコメントなどがあり、見ている方は、それぞれの思い出を語ってました。「なつかしの名画座」実行委員の福島さんは、「いままでありがとうございました。また新たな企画で出発したいです」とあいさつされました。そして「10回以上、なつかしの名画座に来られた方?」という質問には、何人の方が手をあげてました。<みのんば編集局 加藤 篤子>

REPORT 口笛の音色に酔い、酔うひととき 今宵貴方と“アピオスで”



演奏&演出で魅了!

2016.9.11 Apios

今年度「team;ここから」企画第2弾!アピオスの小ホールが、昼は香り豊かな珈琲とメイドがもてなす喫茶店へ、夜は妖艶なマダムとボーイがもてなす酒場へと大変身!口笛奏者の柴田晶子さんが昼と夜のそれぞれの雰囲気に合わせてプログラムで観客を沸かせました。そして、今回はマダムも舞台上へ…。マダムの登場に会場は盛り上がり、柴田さんとの口笛の絡みも絶妙でした。「次回の公演も楽しみにしています!」との声もあり、今後のteam;ここからの企画により一層目が離せません!<みのんば編集局特派員>

NEXT▶ ここからプレミアム劇場vol.04 高田和泉Quartet in アピオス 2017年1月28日(土) 14:00

REPORT 会場を包むあたたかな歌の輪 みの〜れマタニティコンサート



新たな家族の幸せを願って

2016.10.16 Minele

今回のマタニティコンサートは、司会・朗読に鈴木もえみさん、ヴォーカル・コントラバスに高木盛正さん、ピアノ・遠藤征志さん、ギター・梅原新さんを迎え、ジャズのコンサートや、ピアノに合わせた絵本の朗読に、会場は温かな雰囲気に包まれました。小美玉市の玉里地区にお住まいの横張春香さんは、「母と一緒に来ました。とても良いコンサートでした」と話し、一緒に来られたお母様は、「初孫です。今はこのようなコンサートがあって本当に幸せだと思います。この雰囲気の中で周りを見回しながら当時の自分を思い出していました」と話してくれました。最後に会場のみんながひとつになって歌った曲「きぼうのわ」の歌詞「♪この世界を この地球を この星を守ろう 手をとりあって♪」のように、生まれてくる赤ちゃんも楽しみに待っている家族もいつまでも幸せでありますように…。<みのんば編集局特派員 藤田 さおり>



感動のフィナーレ!!

REPORT ひとりひとりがアピオスで躍動! APIOS STREETDANCE FESTIVAL ONE 2016

2016.10.2 Apios

今年で2回目となるアピオスストリートダンスフェスティバル。ワークショップ参加者は昨年より2倍以上増えた総勢105名。全員がエンディングでは講師4名と一緒に踊ることがうれしくて楽しくて、満面の笑みでとびはなっていました。子どもたちは天使のようにかわいらしかった。この日のために、どれだけ練習したのでしょうか。客席から、鳴りやまない拍手の中、今年も大成功に幕を閉じました。午前中は34名によるダンスバトルが繰り広げられ、一日中熱いアピオスとなりました。<みのんば編集局 野手 利江>

秋の文化ホールはもじだんさん!

イベントいろいろ

FOCUS VOL.11 高校野球の名将「つたかんとく」映画を茨城で! 映画「鷲監督」上映会



2016.10.1 Minele

2016.9.22 Minele



本業は歯医者さんですが、ずっと野球に関わってきたことから、今回の映画の実行委員会代表として、初企画・運営をされた野沢孝行さんにインタビューしました。「とにかく初めてづくしで不安でしたが、私たちの心意気をかってくださって、ラジオやスポニチのインターネットにアップされたりしたので、県外からも熱い野球ファンの方がご来場下さり、約400名の客席でトークショーと映画を楽しんでもらえました。天気も荒れそうな中、ご来場いただいた皆様に感謝申し上げます」と野沢さんのほっとした声がきけました。普段のみの〜れとは違う客層が集まったのではないのでしょうか。<みのんば編集局 野手 利江>

VOL.12 茨城中庭演劇祭

茨城中庭演劇祭が開催されました。こちらは今年4月に起こった熊本地震で被害に遭われた方々に向けてのチャリティ公演。茨城発の演劇チーム「イチノノ」が中心となって声掛けをして参加者を募り歌や落語、お芝居を披露しました。中庭演劇祭という言葉から分かるように本来であればみの〜れの風の広場で開催する予定でしたが、生憎の雨により会場を変更し屋内での公演となってしまいました。お客様も残念そうでしたが、演者の雨にも負けないほど熱い思いが伝わってきて見ていてとても有意義な時間でした。きっと熊本の方々にも思いが届いたでしょう。次回は是非中庭で!! <みのんば編集局特派員>

